

令和5年度ヨーロッパザラボヤ付着情報(第3報)

令和5年7月28日

発行:岩手県水産技術センター

協力機関:沿岸広域振興局水産部・宮古水産振興センター
三陸やまだ漁業協同組合

- ・付着数は6月をピークに減少しましたが、100個体以上が付着しており、令和2年以前と同水準で推移しています。
- ・4月から垂下していた付着器には、最大で500g以上のヨーロッパザラボヤが付着していました。

<調査方法>

- ・山田湾内の定点において調査。
- ・ホタテガイ貝殻製の付着器を5m、10m、15m水深に3枚ずつ垂下し、約1ヵ月間に付着したヨーロッパザラボヤ(1mm以上)を計数。
- ・平均付着数:9枚(3水深×3枚)の付着器1枚あたりの平均値。
- ・4月から付着器を垂下して、ヨーロッパザラボヤの成長を調査。

<調査結果>

付着器投入日:令和5年4月25日、6月21日

付着器回収日:令和5年7月24日

- ・6/21の水深5・10・15m層の平均水温は18.33℃、透明度は12mでした。
- ・6/21に垂下した付着器のヨーロッパザラボヤの平均付着数は181.9個/枚でした。
- ・ユウレイボヤの付着数は1.4個/枚でした。
- ・4月から垂下していた付着器のヨーロッパザラボヤの平均付着数は99.1個/枚(25~207個体)、平均重量は167.6g/枚(36~535g)でした。

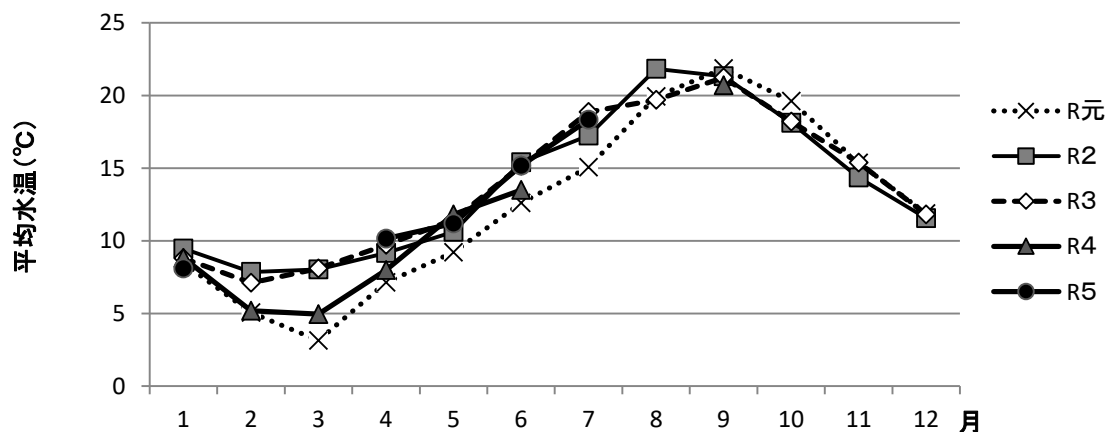


図1 山田湾定点における平均水温(5・10・15m)の推移

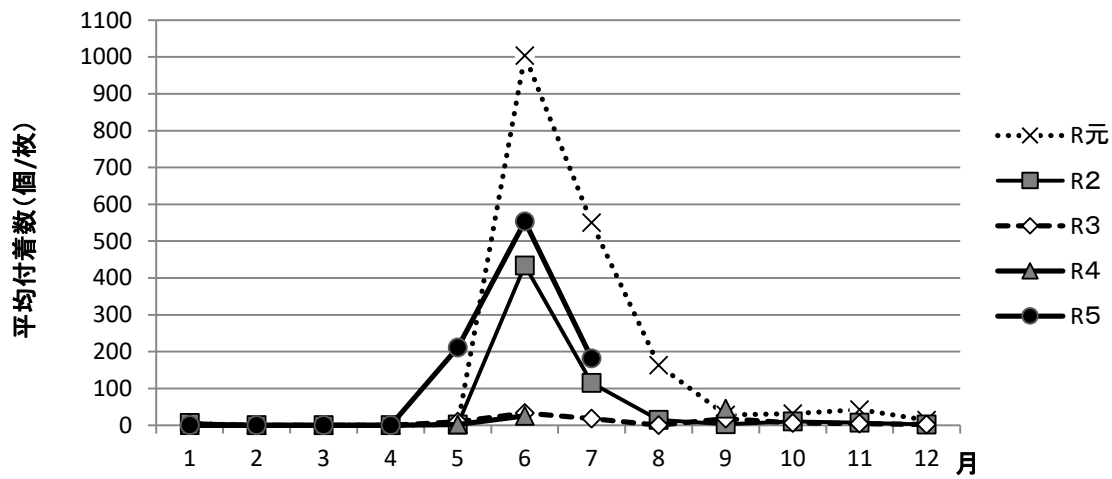


図2 山田湾定点におけるヨーロッパザラボヤの平均付着数の推移

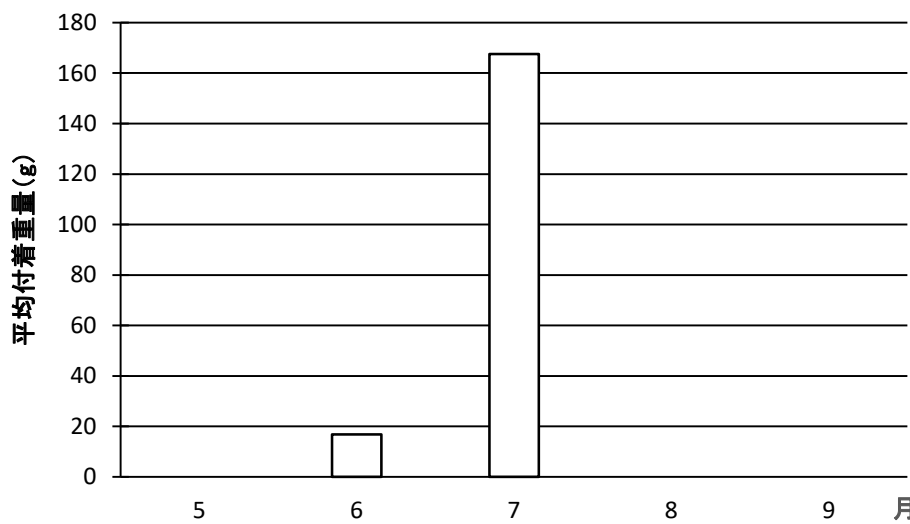


図3 山田湾定点におけるヨーロッパザラボヤの平均付着重量の推移

※5月も付着していたが、計測できない小型個体のみだったため「0」とした。

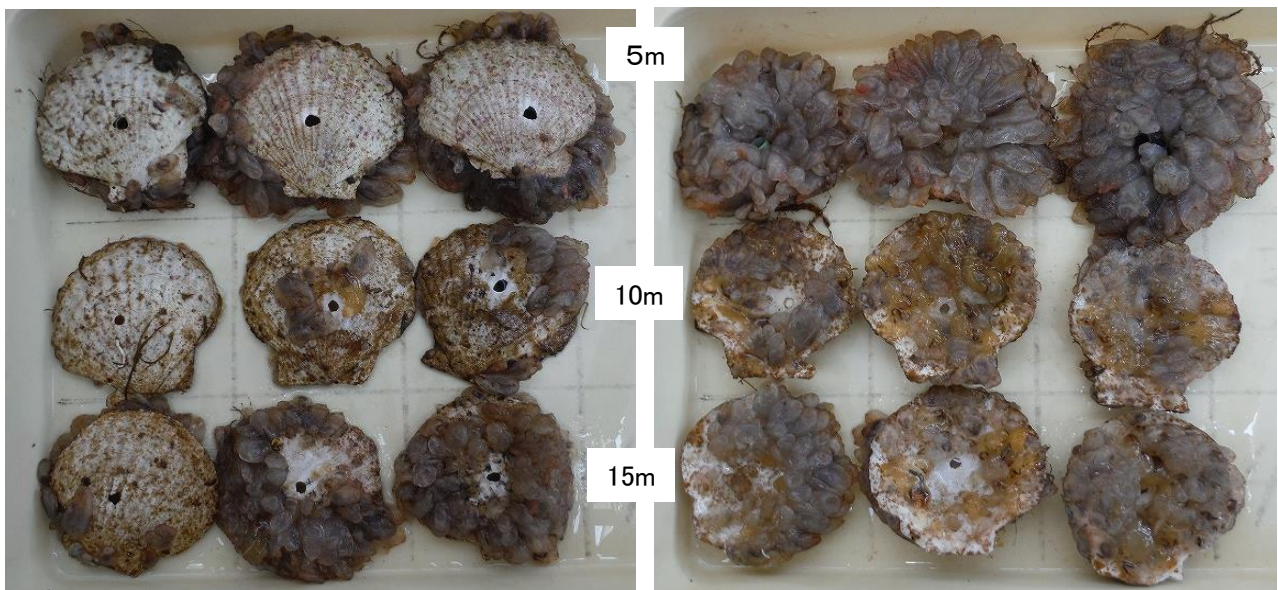


写真 4月から垂下していた付着器に付着していたヨーロッパザラボヤ
次報は、令和5年8月下旬に発行する予定です。